

開講科目名 / Course	成人看護学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 雄二	
担当教員名 / Instructor	佐藤 栄治、古賀 雄二、水田 恵子、井上 陽士、吉田 嘉子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
授業回数	40	
科目の目的と概要	慢性期および終末期にある対象の身体的・心理的・社会的状況を総合的に捉え、チームの一員として適切な看護が実践できる力を習得し、自己の看護観を発展させる。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>慢性期および終末期にある成人の特徴を説明できる。</li> <li>慢性期および終末期にある成人との良好な援助の人間関係の下で、必要な看護を判断・実施できる。</li> <li>慢性期および終末期にある成人に実践した看護を評価できる。</li> <li>慢性期および終末期にある成人に必要な社会資源について述べるができる。</li> <li>慢性期および終末期の看護の役割および医療チーム内での連携について述べるができる。</li> <li>慢性期および終末期の看護実践を通して自己の看護観を述べるができる。</li> </ol>	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<p>実習期間 2026年8月31日～11月20日の期間の2週間</p> <p>実習場所 大分県立病院、大分赤十字病院にて実施する。</p> <p>実習方法 慢性期及び終末期にある対象1～2名を担当し看護過程を展開する。実習期間中は中間および最終カンファレンスを実施し、担当事例の看護実践をプレゼンテーションし、看護の質を高めるための議論をする。</p>	
その他の授業の工夫	臨地実習指導者の下で学生が看護師と連携し、相談・報告を行いながら実習を展開する。実習中間・最終日には施設にて指導者とカンファレンスを実施し、学びをプレゼンテーションする場が設けられる。	
時間外学修	担当患者についてのアセスメントや看護計画などはテキストや図書を使用し、自分の思考を課題様式にまとめる（8h）。課程様式は、適宜指導教員に提出し指導を受ける。	
評価方法と評価割合	原則100%出席とする。実習目標の到達度（50%）、実習記録（40%：記録の作成過程、提出物）、実習態度（10%：カンファレンス参加態度含む）により評価を行う。	
テキスト	成人看護学援助論 ・ ・ ・ で指定したテキスト	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	古賀雄二：病院の看護師 佐藤栄治：病院の看護師 水田恵子：病院の看護師 井上陽士：病院の看護師 吉田嘉子：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	病院に勤務する看護師
実務経験をいかした教育内容	病院での看護の実際を実演し、患者の個別性のある看護について指導をする。	